

ワクチンの自動登録システム マイナンバーとの連携に関して

2015年11月27日
ヘルスケアイノベーションフォーラム
【第2部】第23回事例研究部会

1. ワクチン接種情報について
マイナンバー利活用の背景
2. 伊勢志摩サミット関係閣僚会合
3. マイナンバー利用の実現 電子母子健康手帳の場合
4. マイナンバー利用の実現 肺炎球菌ワクチン在宅接種システムの場合
5. E2bR3プロジェクトとの連携

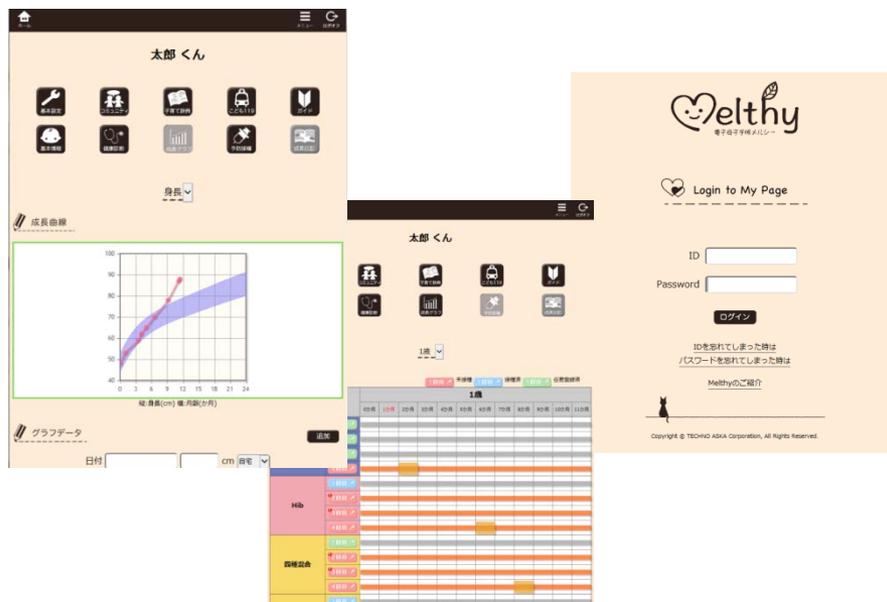
インテル株式会社
法人営業推進本部 清水 由香

株式会社テクノアスカ
ITシステム部 可児 忠夫

ワクチン接種情報についてマイナンバー利活用の背景

母子健康手帳の電子化の傾向において、情報の内容やデータの記録法に関して独自方式の乱立の懸念があり、2013年3月 日本産婦人科医会を中心とした「電子母子健康手帳標準化委員会」が発足しました。

妊婦は、複数の医療施設(産婦人科、小児科)や、里帰り時には異なる地域の医療施設にかかることが多いと思われませんが、母子健康手帳は、市町村ごとに異なっていることがあります。

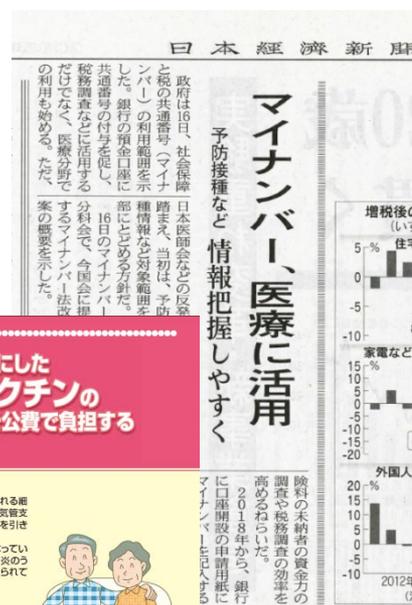


2015年9月3日に改正マイナンバー法が衆議院本会議で成立しました。
この改正マイナンバー法は2016年1月より始まるマイナンバーの利用範囲を
広げるものであると言われています。

法案では、新たに銀行口座、特定健康診査・予防接種記録との紐付けが
組み込まれることになりました。

また、継続して、医療と介護サービスの質の向上等に資するもの
として、乳幼児健診履歴の把握、
行政手続等における診断書添付省略、
保険証機能を搭載したICカードに
情報一元化などの項目に付きましても
利用範囲としてとらえられ
今後検討されるようです。

昨年から開始された、高齢者に対する
肺炎球菌ワクチンの定期接種を
養護老人ホーム、長期療養施設などの
在宅で行う事により。
医療と介護の現場を結ぶサービスが
実現すると考えています。



高齢者を対象にした肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部を公費で負担する定期接種を開始!

肺炎球菌とは
肺炎球菌は主に気道の分泌物に含まれる細菌で、唾液などを通じて飛沫感染し、気管支炎や肺炎、敗血症などの重い合併症を引き起こすことがあります。肺炎はわが国の死と原因の第3位となっていますが、一般に細菌によって生じる肺炎のうち1/4~1/3は肺炎球菌が原因と考えられています。

定期接種は平成26年10月1日から開始されます
平成26年10月1日から平成31年3月31日までの間に、主に55歳以上で誕生日の生半日に該当する方は、肺炎球菌ワクチンの定期接種を1回受けることができます。定期接種の対象となる方は毎年異なるため、この機会を逃さないようご注意ください。くわしくは裏面をご覧ください。

厚生労働省 公費負担老人 予防接種リサーチセンター

詳細については、お住まいの市区町村にお問い合わせください。

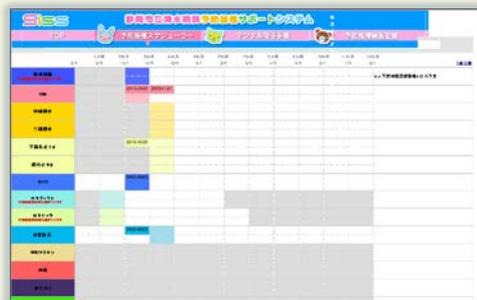
伊勢志摩サミット関係閣僚会合

2008年に開催された北海道洞爺湖サミットにおいて、母子健康手帳を世界に普及させようという提言がなされました。また、それ以前からのJICAやWHO等の皆様のご尽力により、日本発の「母子手帳」が世界30カ国以上で使われていると聞いております。それから、8年が経過した、来春に伊勢志摩サミット関係閣僚会合が開かれ情報通信大臣会合が高松市にて平成28年4月29日～30日に開催されます。つきましては、会合に合わせまして、HCIF原座長先生が普及を進めておられます、K-MIX関連の多目的サーバを利用した環境にて、電子母子健康手帳や肺炎球菌ワクチン在宅接種システムのデモンストレーションを通じて、現在進められている、国内での試みを国民の皆様にご覧いただきとともに、世界に向けて発信できれば、未来に向けて大きな希望となると思われまます。



関連システムの紹介

弊社の担当する関連システムの紹介です。



予防接種・ヒヤリカット

VacSISS

予防接種管理システム

接種スケジュールの管理や
ワクチンの有効期限確認など
バーコードを利用した
誤接種防止システム



Melthy
電子母子健康手帳メルシー

電子母子健康手帳

VacSISSにて、登録した予防接種
の接種情報をクラウドを利用し
記録提供する。
スマホ、タブレットを利用し、
小児科情報に特化した
電子母子健康手帳

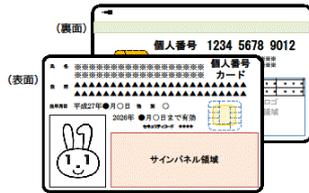


肺炎球菌ワクチン 在宅接種システム

昨年より定期接種の始まった、
肺炎球菌ワクチンの接種を
養護老人ホーム、長期療養施設
で接種を行うための情報をタブレット
を利用して提供するシステム。
問診票の手書き入力ができる。
さまざまなシーンでの利用が可能

マイナンバー利用の実現 電子母子健康手帳の場合

病院内の環境から

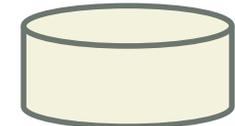


NFCリー
ダー

ワクチン接種情報の登録



本人確認
自治体管理のデータにて本人確認
将来的にはマイポータル化



自治体で立ち上げる
統合宛名管理サーバー

プロトコルは
ブラックボックス

多目的サーバ

予防接種情報とマイナンバーを連携して、
本人の情報参照できるようにする

標準化委員会準拠の
電子母子健康手帳のクラウド内データ

ワクチン	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
麻疹	接種済									
MM	接種済									
破傷風	接種済									

マイナンバーが有ればどこにいても、
接種状況を取得できる。
標準化委員会準拠であれば、どのアプリでも接種
情報が参照できる。

マイナンバー利用の実現 肺炎球菌ワクチン在宅接種システムの場合

病院内の環境から



養護老人ホーム、
長期療養施設



ワクチン接種情報の登録

本人確認
自治体管理のデータにて本人確認
将来的にはマイポータル化

自治体で立ち上げる
統合宛名管理サーバー

プロトコルは
ブラックボックス

多目的サーバ

予防接種情報とマイナンバーを連携して、
本人の情報が参照できるようにする

マイナンバーが有ればどこにいても、
接種状況を取得できる。
問診票の記入が本人であることの証明としても
本人確認は重要となる。

高齢者を対象にした
肺炎球菌ワクチンの
接種費用の一部を公費で負担する
定期接種を開始!

肺炎球菌とは

肺炎球菌は主に気道の分泌物に含まれる菌
で、喉炎などを通じて肺炎感染、気管支
炎や肺炎、敗血症などの重い合併症を引き
起こすことがあります。
肺炎はわか病の死亡原因の第3位となってい
ますが、一般に高齢によって生じる肺炎のら
ち1/4~1/3は肺炎球菌が原因と考えられて
います。

定期接種は
平成26年10月1日から
開始されます

平成26年10月1日から平成31年3月31日まで
の間に、主に65歳以上で誕生日の生年月日に該
当する方は、肺炎球菌ワクチンの定期接種を
1回受け取ることができます。定期接種の対象
となる方は毎年異なるため、この機会を逃さ
ないようにご注意ください。
くわしくは画面をご覧ください。



詳細については、
お住まいの自治体に
お問い合わせください。

厚生労働省 高齢者医療 多目的連携リサーチセンター

在宅ワクチン接種管理システム

診察券番号: 9999999999999999

患者氏名: XXXXXXXXXX / 性別: XX / 年

接種日付	ワクチン種別	Lot No.	有効期限	注
2015/01/01	インフルエンザ	999999999999999999	2016/08/31	
2014/02/13	インフルエンザ	999999999999999999	2015/12/23	36
2013/01/27	インフルエンザ	999999999999999999	2015/02/02	36
2012/10/18	肺炎球菌	999999999999999999	2015/09/30	36
2012/01/17	インフルエンザ	999999999999999999	2013/12/27	36

E2bR3プロジェクトとの連携

2015年9月3日に改正マイナンバー法と同時に、可決された改正個人情報保護法は、「ビッグデータ」と呼ばれる膨大な情報を企業が利用する機会が広がっていることを受け、個人を特定できないようにした情報を本人の同意なしに第三者に提供できるようにするなど、情報を扱うルールを明確化して企業がビジネスに活用しやすくなった。

初期的なアプローチとしては、肺炎球菌ワクチン在宅接種システムは電子カルテとのつながりも少なく、ネットワークの環境さえ整えば、クラウド化しやすい。E2bR3プロジェクトともシームレスに連携できる。また、タブレットを利用する事により情報の入力を医療従事者にて行う事が出来、実績を残すことができる。

CIOMS → E2bR3 Mapping Listの蓄積を通じて、ビッグデータを構築する事で、副反応情報の治験データを、将来の製薬に役立てることができると考えております。

ご清聴ありがとうございました。